

## < 1 人口減少対策 >

- (1) きょうがくきょうしゅう 郷学郷就県づくり
- (2) 結婚・子育て支援
- (3) 移住・二地域居住の推進

## < 2 地域経済の活性化 >

- (1) 産業イノベーションの推進
- (2) グローバル経済への対応
- (3) 地消地産の推進

## < 3 多様な働き方・暮らし方の創造 >

- (1) 働き方改革
- (2) 女性への応援
- (3) 高齢者・障がい者の活躍
- (4) 文化芸術振興

## < 4 個性豊かな地域づくり >

- (1) 地域振興局を核とした地域の振興
- (2) 交通ネットワークの充実
- (3) 観光地域づくり

## < 5 安全安心な社会の実現 >

- (1) 県土強靱化
- (2) 健康長寿県づくり
- (3) 自殺・貧困対策

# 1 人口減少対策

信州創生を担い地域を支える人材を確保するため、長野県の未来を担う子どもたちが「郷学郷就」できる環境づくり、若者の結婚や子育ての希望を実現できる社会づくり、移住や二地域居住の場として選ばれ続ける長野県の実現等に引き続き取り組みます。

## (1) 郷学郷就県づくり

子どもたちが、希望に満ち溢れた場所で安心して学び、大人となって社会を支える人材となり、長野県で暮らし働く楽しみを持てる社会を実現します。

### 《信州高等教育の飛躍》

- 都バス停留所への広告掲載など県内外への県内高等教育機関の魅力発信の充実【県民文化部】(728万4千円)
- 長野県立大学(仮称)の平成30年4月開学に向けた準備【総務部】(81億299万4千円)

### 《多様な学びの場の創出支援》

- (新)公的支援を受けていない信州やまほいく(信州型自然保育)認定団体に対する助成制度を創設【県民文化部】(1,700万2千円)
- 小中学校のLD等通級指導教室担当教員を28人から39人に増員【教育委員会】(5,610万円)

### 《子どもの希望を実現できる学びの場の提供》

- 次期学習指導要領に向けて、時代の要請に応えた授業等を実現するため、県立高校13校にICT機器を整備するとともに教員のICT活用指導力を向上【教育委員会】(2億4,699万円)

### 《次代を担う人材の育成・確保》

- インターンシップ支援や企業との出会いの場創出等を通じて県内外の学生の県内就職を促進【産業労働部】(2,537万5千円)
- コーディネーターの配置や企業実習の実施を通じて「学校での学び」と「地域での実践的な働き」を実現するデュアルシステムを農業高校や商業高校にも拡大【教育委員会】(9,022万9千円)
- 武道館の建設に向けた設計【教育委員会】(1億3,720万円) など

## (2) 結婚・子育て支援

少子化傾向に歯止めをかけるため、市町村・民間団体・企業等との連携を図りながら、結婚・妊娠・出産・子育てまでを切れ目なく支援していくことにより、安心して子供を生み育てることのできる長野県を目指します。

### 《結婚・妊娠・出産期》

- 妊娠電話相談を、これまでの週2日に加え9月及び10月は毎日実施に拡充【健康福祉部】(290万7千円)
- 母子保健推進員を2人から4人に増員し、質の高い母子保健サービスを県内どこでも受けられるよう体制整備【健康福祉部】(632万1千円)

### 《子育て期》

- (新)待機児童を生じさせないため保育人材情報を集約・マッチングする保育士人材バンクを整備【県民文化部】(499万2千円)
- 学習支援や食事提供等を行う子どもの居場所「信州こどもカフェ」の立ち上げを支援する地域プラットフォームを構築・運営【県民文化部】(577万4千円)
- (新)児童虐待への法的対応機能を強化するため児童相談所広域支援センターに弁護士を配置【県民文化部】(254万1千円)

### 《子どもの性被害防止》

- 性暴力被害者支援センター「りんどうハートながの」の運営【県民文化部】(1,710万3千円)
- 「性被害防止教育キャラバン隊」の派遣を高校に加え中学校等にも拡大するとともに、スクールサポーターによる性被害防止教育も実施【教育委員会】(736万9千円)
- 【警察本部】(1,921万3千円) など

## (3) 移住・二地域居住の推進

民間事業者・市町村等と連携を一層強化し、多様なニーズにきめ細かく対応することで、移住・二地域居住者の増加を目指します。

### 《長野県で働くことの提案と支援》

- (新)長野県でできる仕事の情報を一体的に発信する「信州で働くフェア」の開催【企画振興部】(329万4千円)

### 《住まい探しに関する支援》

- 県営住宅について子育て世帯を対象としたモデル的改修を実施するとともに、入居に係る居住地要件を見直し【建設部】(1,839万9千円)

### 《移住・二地域居住の魅力発信・相談・溶け込み支援》

- 全国的な移住情報の拠点として機能する「ふるさと回帰支援センター」と連携し、都市部での長野県の魅力発信ときめ細やかな移住相談を実施【企画振興部】(2,044万7千円)
- 三大都市圏での移住相談を実施するとともに、広域単位の相談窓口を2か所から4か所に拡大【企画振興部】(1,757万1千円)
- 楽園信州移住応援企業の登録を増やすことで企業が提供するサービスを充実し、移住前後の負担を軽減【企画振興部】(102万2千円)
- 二地域居住希望者に信州の魅力を伝えるため、宿泊体験施設として長野県の気候風土に適したコンパクト住宅を整備する市町村を支援【建設部】(1,023万6千円) など

# (1) 郷学郷就県づくり ①

## <目指すもの>

子どもたちが、希望に満ち溢れた場所で安心して学び、大人となって社会を支える人材となり、長野県で暮らし働く楽しみを持てる社会を実現します。

## 信州高等教育の飛躍

### <これまでの取組>

- 県内高等教育機関の魅力の向上と次代の長野県を担う人材の定着を促進するため、信州高等教育支援センターを設置(平成28年4月)。
- 信州の多様な学びの魅力を発信するため、LINEやJR山手線車体広告等により県内大学・短大等の広報を実施。
- 大学生の海外インターンシップを促進するため、参加希望学生と受入企業のマッチングやインターンシップ経費の一部補助を実施。
- グローバルな視野でイノベーションを創出し、地域のリーダーとなる人材を育成する新たな県立4年制大学の設置に向けた準備を促進。

### 今後の方向性

県内の大学等が行う教育・研究・地域貢献の充実のための取組を支援するとともに、長野県立大学(仮称)を設置し、高等教育を更に飛躍させます。

【県内大学収容力 18.0%(H30)】

【県内大学生インターンシップ参加率 32.2%(H29)】

### <平成29年度の取組>

- ◆県内大学の公立化や学部設置など大学改革について個別に支援  
【県民文化部】 信州高等教育支援センター事業
- ◆長野県立大学(仮称)の開学と連携した、車体広告や都バス停留所への広告掲載など県内外への県内高等教育機関の魅力発信の充実  
【総務部】 新県立4年制大学設立準備事業  
【県民文化部】 信州で学ぼう! 魅力発信事業
- ◆意欲ある県内大学生の海外インターンシップを支援するため、受入企業の拡大や経費の一部補助を引き続き実施  
【県民文化部】 大学生海外インターンシップ支援事業
- ◆長野県立大学(仮称)の平成30年4月開学に向けて、三輪キャンパス及び後町キャンパスの施設整備を推進するとともに、大学広報や入学者選抜等を実施(省エネルギー推進支援積立金(企業局)を活用して施設の省エネルギー化を推進)  
【総務部】 新県立4年制大学設立準備事業

## 多様な学びの場の創出支援

### <これまでの取組>

- 信州の自然・地域の資源を活かした教育を推進するため、信州やまほいく(信州型自然保育)の普及や地方創生のモデルとなる新しい高校づくりの推進。
- 困難を有する子ども・若者を支援するため、支援団体等への公的支援や子どもの個性を伸ばす教育のモデル研究を実施。
- すべての年代のための学びの場を創出するため、県立図書館の改革や公民館活性化支援を強化。

### 今後の方向性

本県の豊かな自然環境や地域の様々な資源を最大限活用し、多様な学びの場を創出します。

【信州やまほいく(信州型自然保育)認定団体数 151園(H29)】

【小中学校のLD等通級指導教室の担当教員の増員 11人増の39人(H29)】

### <平成29年度の取組>

(信州の自然・地域の資源を活かした教育)

- ◆公的支援を受けていない信州やまほいく(信州型自然保育)認定団体に対する保育者の処遇向上のための助成、ポータルサイトによる情報発信  
【県民文化部】 信州やまほいく(信州型自然保育)普及事業
- ◆県立高校において「新たな社会を創造する力」を育む「学びの改革」を実施  
【教育委員会】 学びの改革(高校フロントランナー改革)事業(困難を有する子ども・若者への支援)
- ◆不登校や引きこもり等の困難を有する子ども・若者に対する社会的自立のための支援を行う場を提供する民間団体を支援  
【県民文化部】 困難を有する子ども・若者の社会的自立支援事業
- ◆高等専修学校に在学し、課題を抱える生徒の保護者の学費負担軽減のための支援の拡充  
【県民文化部】 私立専修学校教育振興費補助金
- ◆発達に様々な特性を持つ子ども・若者の個性を伸ばし、自信や自尊心を育む教育の長野県モデル構築に向けた検討  
【県民文化部・教育委員会】 子どもの個性を伸ばす教育研究モデル事業
- ◆特別支援学校の自立活動担当教員の20人増員、小中学校のLD等通級指導教室担当教員の11人増員  
【教育委員会】 特別支援教育充実事業(社会的な新しい価値創造への学び)
- ◆図書館フォーラムの開催や“co-learning”モデルの提案など、知識基盤社会における県民の情報利活用能力の向上を支援  
【教育委員会】 図書館改革事業
- ◆おでかけ歴史館など、地域の歴史・文化活動への貢献と長野県の近現代などの調査研究を実施  
【教育委員会】 県立歴史館事業

# (1) 郷学郷就県づくり ②

## <目指すもの>

子どもたちが、希望に満ち溢れた場所で安心して学び、大人となって社会を支える人材となり、長野県で暮らし働く楽しみを持てる社会を実現します。

## 子どもの希望を実現できる学びの場の提供

### <これまでの取組>

- 子どもの希望を応援するため、経済的な困難を抱えながら県内大学・短大で学ぶ学生の修学継続を支援。
- 確かな学力を伸ばす教育を充実するため、全国に先駆けて実施している30人規模学級編成など、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かい教育により基礎学力の定着を一層支援。
- 未来を担う科学技術人材を育成するため、長野県こどもの未来支援基金(企業局拠出)を活用した、各種科学コンテストの出場予定者に対する実力養成講座等を実施。
- 信州に根ざし世界に通じる人材を育成するため、県独自に高校生留学の支援や豊かな自然や歴史・文化など長野県の魅力を活かした教育(信州学)の推進。

### 今後の方向性

長野県の未来を担う子どもたちが、世界につながる力を備え、希望する進路を実現できる力を育成します。

【信州学を実施する県立高校の割合 100%(H29)】

### <平成29年度の取組>

- ◆経済的な困難を抱えながら県内大学で学ぶ学生の修学継続を引き続き支援  
※「ルートイングループ・永山勝利」大学修学等支援基金及び長野県こどもの未来支援基金(企業局拠出)活用事業  
【県民文化部】 [ルートイングループ寄附金等活用] 県内大学修学奨学金給付事業
- ◆児童生徒に確かな学力を定着させるため、基礎的・基本的な知識・技能や活用する力を身に付けられるよう、各学校の学力向上PDCAサイクルづくりや授業改善を支援  
【教育委員会】 「未来を拓く学力」の向上事業
- ◆県立高校において次期学習指導要領及び高大接続システム改革に対応したICT機器を整備するとともに、教員のICT活用指導力向上研修を実施  
【教育委員会】 情報通信技術(ICT)を活用した確かな学力育成事業
- ◆グローバルな社会課題を発見・解決する力を身に付け、国際舞台で活躍できるグローバルリーダーの育成を図るため、スーパーグローバルハイスクールの運営や高校生の発信力・コミュニケーション能力を向上させるための取組を実施  
【教育委員会】 グローバル人材育成事業
- ◆信州学の取組成果を発表するための「信州学サミット」の開催など、信州学推進の取組を充実  
【教育委員会】 「信州学」推進事業

## 次代を担う人材の育成・確保

### <これまでの取組>

- 医療・福祉を支える人材を育成するため、産科を選択する研修医に対する研修資金貸与制度の創設や介護人材のキャリアパス構築、認定介護福祉士の養成を支援。
- ものづくり産業やサービス産業人材を育成するため、ものづくりのスペシャリストを育成する南信工科短期大学の開校(平成28年4月)や短期実践開発型ワークショップによるIT人材の発掘・育成。
- 農林水産業人材を育成するため、就農希望者の相談、体験・研修、就農後の経営発展に向けた支援や林業の現場で即戦力となる実践的な知識・技術を学ぶ場の提供。
- 地域づくり人材を確保・育成するため、遊休不動産を活用した住民主導のまちづくりの手法を学ぶセミナー等の開催や地域おこし協力隊と地域づくりリーダー育成の実施。

### 今後の方向性

地域社会や産業等で必要とされる能力を備え、地域や世界に貢献できる多様な人材を育成します。

【職業能力開発施設卒業生の県内就職率 89.0%(H29)】

【県内専門学校卒業生の県内就職率 88.9%(H29)】

### <平成29年度の取組>

- ◆インターンシップ支援や企業との出会いの場創出等を通じて県内外の学生の県内就職を促進  
【産業労働部】 信州シューカツ応援プロジェクト
- ◆モデル高校に「学校での学び」と「地域での実践的な働き」が相乗的に営まれるデュアルシステムを構築し、産業界が求める人材育成と地域の魅力を活かした活躍の場を創出  
【教育委員会】 学びと働きを連携させた信州創生のための新たな人材育成モデル事業
- ◆就農希望者が就農を決断するための短期間農家研修の新設や就農後の経営感覚を醸成する機会を充実  
【農政部】 農業で夢をかなえる支援事業
- ◆各地域の林業・木材産業を、経営感覚を持ちながら総合的な視野で指揮する「信州フォレストコンダクター」が地域関係者と連携して活動する取組を支援  
【林務部】 信州フォレストコンダクター活動支援事業
- ◆実践的な研修による地域づくりリーダーの育成及び地域おこし協力隊のサポート体制の構築やネットワークを強化  
【企画振興部】 元気な地域づくり人材育成事業
- ◆武道振興の中核的拠点として県立武道館を建設  
【教育委員会】 県立武道館建設事業

## (2)結婚・子育て支援

### <目指すもの>

- ・市町村や民間団体等との協働・連携により、結婚・妊娠・出産・子育てまでを切れ目なく支援する体制の構築を目指します。
- ・子どもを性被害から守る取組を推進するとともに、性暴力被害者に寄り添った支援体制の整備を目指します。

### 結婚・妊娠・出産期

#### <これまでの取組>

- 市町村や民間団体、企業等と連携して、オール信州で婚姻件数の増加を図ることを目的とした「長野県婚活支援センター」を平成28年10月に設置。
- 妊娠・出産・育児に悩む者に対する電話相談の実施(H27年度相談件数181件)。
- 若者への妊孕(にんよう)性教育として、高校生、大学生等を対象とした「ライフデザインセミナー」を開催(H28年度 高校生94回、大学・短大・専門学校生23回、その他18回)。
- 平成27年度に「信州母子保健推進センター」開設、平成28年度から母子保健推進員2名を配置し市町村への助言、技術支援等による、母子保健担当者の資質向上。

#### 今後の方向性

市町村・企業等との連携により、婚姻件数の増加を図るとともに、妊娠・出産に対する知識の普及および専門機関等と協働した安心して妊娠・出産のできる環境整備を促進します。【県と市町村等の結婚支援事業による婚姻件数 300件(H31)】

#### <平成29年度の取組>

- ◆結婚・ライフプラン支援員を配置し、結婚を入り口とするライフプランニング形成支援に関する出前講座を実施するなど、企業への支援を強化  
【県民文化部】 長野県婚活支援センター運営事業
- ◆若者への妊孕(にんよう)性教育としてライフデザインセミナーの継続実施、妊娠から子育てに係る電話相談を週2日の実施に加え9月～10月は毎日実施に拡充。  
【健康福祉部】 妊娠・出産相談支援事業
- ◆母子保健推進員の配置を2人から4人へ拡充、産後ケアアドバイザー派遣及びハイリスク妊産婦等情報共有ツール普及の継続  
【健康福祉部】 信州母子保健推進センター事業

### 子育て期

#### <これまでの取組>

- 地域における小児・周産期医療を確保するため、医療機関の連携を図り、患者の症状に応じた対応が可能な医療提供体制を整備。
- 子どもの居場所である「信州こどもカフェ」を県内2か所でモデル実施、カフェ開設のためのプラットフォームのモデルづくりを県内2か所で実施。
- 児童生徒が安心して学校生活を送り学習に取り組めるよう、児童生徒の悩みに適切かつ迅速に対応できるスクールカウンセラーを配置。
- 社会福祉や精神保健福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーによる、児童生徒を取り巻く環境等の改善に向けた総合的な支援を実施。

#### 今後の方向性

必要な時に必要な医療・保育が受けられ、かつ学校生活における悩み等の相談ができる体制・人材を確保します。  
また、子どもが安心して過ごせる居場所「信州こどもカフェ」の取組を一層促進します。

#### <平成29年度の取組>

- ◆待機児童を生じさせないため、保育人材情報を集約し、マッチングを行う体制を整備  
【県民文化部】 (新)保育士人材バンク事業
- ◆学習支援や食事提供など一場所多役の子どもの居場所の普及拡大  
【県民文化部】 官民協働の子どもの居場所「信州こどもカフェ」推進事業
- ◆弁護士を配置し児童虐待への法的対応機能を強化する他、家庭的な困難を抱える子どもの環境を改善するための体制を整備  
【県民文化部】 (新)児童相談所法的対応機能強化事業  
【教育委員会】 スクールソーシャルワーカー活用事業

### 子どもの性被害防止

#### <これまでの取組>

- 地域住民や保護者の子どもを守り育む活動を、青少年育成県民会議を通じて支援することにより、子どもを性被害から守る取組を県民運動として推進。
- 性被害防止教育キャラバン隊にスクールサポーターが同行し、高校生等に対する性被害防止教育を実施。
- 性暴力被害者支援センター「りんどうハートながの」を平成28年7月に設置。

#### 今後の方向性

子どもを性被害から守るための取組及び学校訪問等に加え、被害者の心身の負担軽減・回復のため、被害者に寄り添った支援を充実します。  
【青少年サポーター登録者数 2,000人(H29)】

#### <平成29年度の取組>

- ◆情報モラル向上の取組充実と幅広い県民参加による青少年育成県民運動の活性化  
【県民文化部】 長野県青少年育成県民会議事業補助金
- ◆「りんどうハートながの」が、安心して相談できる機関として認知されるよう周知を図るとともに、支援員等の資質向上研修を実施  
【県民文化部】 性暴力被害者支援センター事業
- ◆「性被害防止教育キャラバン隊」の派遣を、高校に加え、中学、特別支援学校へ拡充するとともに、スクールサポーターによる性被害防止教育も積極的に実施  
【教育委員会】 性被害防止に向けた指導充実事業  
【県警本部】 子どもを性被害から守る対策強化事業

# (3) 移住・二地域居住の推進

## <目指すもの>

民間事業者・市町村等と連携を一層強化し、多様なニーズにきめ細かく対応することで、移住・二地域居住者の増加を目指します。

## 長野県で働くことの提案と支援

### <これまでの取組>

- 「Iターン信州」HPの運営を通じ、登録者へ就職情報を提供
- 銀座NAGANOにおけるハローワークとの一体的な相談体制の整備
- 就農相談会の開催、ほか職種ごと部局単位で情報を提供

### 今後の方向性

長野県で就業可能な仕事の情報について、ワンストップで移住希望者に提供できる機会を新たに設けます。

### <平成29年度の取組>

- ◆就農・就林等、長野県でできる仕事の情報を一体的に発信するフェアを開催  
【企画振興部】(新)「信州で働くフェア」開催事業
- ◆Iターン就職情報を効果的に発信するため「Iターン信州」HPの改修・運営を行うとともに都市圏での就業相談体制を充実  
【企画振興部】Iターン促進事業
- ◆ジョブカフェ信州銀座サテライト(銀座NAGANO内)において、UIターン希望の学生を中心に就職相談・就活セミナー、県内企業情報の提供等を実施  
【産業労働部】ジョブカフェ信州運営事業

## 住まい探しに関する支援

### <これまでの取組>

- 楽園信州空き家バンクによる空き家情報の提供
- コンパクト住宅普及のため、市町村が行う宿泊体験施設整備への助成や都市圏での説明会を実施

### 今後の方向性

空き家の利活用促進、県営住宅の入居資格見直し等、多様なニーズに配慮した移住者と住まいをつなぐ環境整備を進めます。

### <平成29年度の取組>

- ◆子育て世帯を対象とした県営住宅のモデル的改修を実施するとともに、条例改正し、入居に係る居住地要件を見直し  
【建設部】“住みたくなる”県営住宅リノベーションモデル事業
- ◆既存住宅現況検査費用等への補助を実施し、移住者等が安心して空き家を購入できる市場環境を整備  
【建設部】あんしん空き家流通促進事業
- ◆楽園信州移住応援企業との連携により、住まい探し等の支援を充実  
【企画振興部】移住・二地域居住の推進

## 移住・二地域居住の魅力発信・相談・溶け込み支援

### <これまでの取組>

- 県庁及び三大都市圏への移住相談窓口の開設
- 都市部において移住セミナーや実際に長野県を訪れる移住体験ツアーを開催
- 長野県と都市部(東京)との暮らし方を比較した「信州暮らし提案書」を作成
- 移住ポータルサイト「楽園信州」の運営や移住専門誌への記事掲載など、戦略的な情報発信を展開

### 今後の方向性

三大都市圏で選ばれ続けるため、民間事業者・市町村との連携を一層強化し、情報発信・相談体制の充実や、移住及び地域への定着に向けた支援体制づくりに取り組みます。

【移住者数 2,450人(H29)】【移住相談件数 8,051件(H29)】

### <平成29年度の取組>

- ◆全国的な移住情報の拠点として機能するNPOと連携し、都市部での長野県の魅力発信ときめ細やかな移住相談を実施  
【企画振興部】ふるさと帰郷支援センター連携事業
- ◆三大都市圏に移住相談窓口を設置するとともに、広域単位での移住相談窓口の立ち上げ支援を拡充  
【企画振興部】楽園信州移住相談センター運営事業
- ◆楽園信州移住応援企業との連携による提供サービスの充実を通じ、移住前後の負担を軽減  
【企画振興部】移住・二地域居住の推進(再掲)
- ◆県内への移住者の捕捉により移住実態を把握するとともに、その動向分析結果を県及び市町村の社会人口増施策へ活用  
【企画振興部】移住者数捕捉アンケート・分析
- ◆移住者等と地域住民とをつなぐ団体を紹介することで、移住者等の不安解消と地域への溶け込みを支援  
【企画振興部】移住コンシェルジュによる溶け込み支援
- ◆市町村との協働によるひとり親家庭の移住を促進するための相談会の開催や就業支援員による職業紹介等の支援  
【県民文化部】ひとり親家庭の移住・定住支援事業
- ◆二地域居住希望者に信州の魅力を伝えるため、宿泊体験施設として長野県の気候風土に適したコンパクト住宅を整備する市町村を支援  
【建設部】信州木のある暮らし推進事業

# 2 地域経済の活性化

経済のグローバル化や人口減少に伴う国内市場の縮小等に対応した強靱でしなやかな地域経済を構築するため、次世代産業の育成などを通じた信州産業の活性化、県産品の輸出拡大などを通じた世界から選ばれる「NAGANO」の実現、地消地産の推進等に引き続き取り組みます。

## (1) 産業イノベーションの推進

産学官の連携で、県内企業の技術革新や新分野への展開を促進するとともに、企業誘致や創業支援、農産物や日本酒・ワインなどの加工食品等の販路拡大に取り組み、稼ぐ力を一層高めます。

### 《次世代産業育成》

- 航空機システム拠点づくりに向け、信州大学の研究講座開設による高度人材育成、国内唯一の防爆試験機整備の支援等を実施  
【産業労働部】(2億6,577万5千円)
- (新)風味評価モデルの構築等により「おいしさ指標」の見える化を進め、長野県産食品の高付加価値化・ブランド化を推進【産業労働部】(329万5千円)

### 《生産性・所得向上》

- 農業経営の一層の効率化に向け、トヨタ式カイゼン手法の農業への導入等を総合的に推進  
【農政部】(1億368万6千円)
- (新)伐採から植栽までのコンテナ苗を活用した低コスト一貫作業システムの導入・定着促進  
【林務部】(499万8千円)
- 信州大学を中心とした産学官連携による森林・林業の情報高度化、素材生産の効率化(スマート林業)の推進【林務部】

### 《日本酒・ワイン振興》

- (新)信州日本酒PR研修会を開催し、その魅力を発信する意識を醸成【産業労働部】(124万5千円)
- (新)国際ワインコンクールへの出品支援等を通じて「NAGANO WINE」のブランド力を向上  
【産業労働部】(910万5千円)
- (新)ぶどう苗木確保や栽培関係者の知恵を結集する場の設置等による産地育成  
【農政部】(1,212万1千円) など

## (2) グローバル経済への対応

本県の工業製品・農産物・物産、観光地が世界から選ばれ続ける「NAGANO」の実現を目指します。

### 《輸出拡大の取組》

- (新)国際ワインコンクールへの出品支援等を通じて「NAGANO WINE」のブランド力を向上  
【産業労働部】(910万5千円)
- 新たに香港に輸出支援員を配置するなど、農産物等輸出事業者協議会の積極的な取組を支援  
【農政部】(732万円)

### 《インバウンドの推進》

- 市場の特性に応じた効果的なプロモーションを実施  
・台湾、香港のリピーター層向け体験プログラムの提供  
・スキー人気が高まる中国、韓国からの誘客  
・現地商談会等を通じた東南アジアからの誘客 等  
【観光部】(9,425万4千円)
- (新)通訳アプリ内蔵タブレットやWeb110番システムの導入【警察本部】(238万7千円)

### 《海外との連携》

- オーストリアとの林業技術交流を集中的に推進  
【林務部】(300万円)
- シナノゴールドの世界的ブランド化に向けイタリア果実生産者団体と連携  
【農政部】(120万円)
- (新)中国を相手とするホストタウンとして交流を行い、2020年東京オリンピック・パラリンピックを官民挙げて全県的に盛り上げ【県民文化部】(47万9千円)
- (新)環境エネルギー分野での技術等の産業化の先進国であるドイツの地方自治体等との交流を進め、そのノウハウを関係者が共有  
【環境部】(309万3千円) など

## (3) 地消地産の推進

県内企業や各種団体をはじめ、県民と共に地域内で消費されるモノやサービスを、できるだけ地域内で生産する「地消地産」の取組を進め、経済がグローバル化する中でも足腰の強い「地域経済づくり」を目指します。

### 《しあわせバイ信州運動》

- 地域内で経済を循環させるための県民運動として「しあわせバイ信州運動」を進めるため、調査やプロモーションを実施  
【産業労働部】(695万5千円)

### 《信州農畜産物の活用拡大》

- 研修会や産地見学会、意見交換会等を通じて、ホテルや給食における信州産食材への置き換えを推進  
【農政部】(724万円)
- (新)県産農産物の活用促進に向けて畑地での輪作体系の実証実験を実施  
【農政部】(498万円)

### 《エネルギー自立地域の確立》

- (新)環境エネルギー分野での技術等の産業化に向けた研究を支援等  
【環境部】(309万3千円)
- (新)県有施設照明のLED化を推進するための調査を実施  
【環境部】(1,000万9千円)
- (新)横川ダム他2か所の県管理ダムを活用した新たな水力発電所の建設  
【企業局】(6,694万6千円)

# (1) 産業イノベーションの推進 ①

## <目指すもの>

県内企業の技術革新や新分野展開等を促進し、国際競争力のある次世代産業を集積させ、経済変動に強い産業構造に転換します。

## 次世代産業育成（健康・医療・航空機産業の振興、環境・エネルギー）

### <これまでの取組>

- 国際戦略総合特区「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」エリア拡大(5→15市町村)
- 飯田下伊那地域の企業と他地域の企業を結びつけるためのコーディネータを配置し、航空機産業の技術的課題等の解決と県内企業への裾野拡大を両輪で推進
- 信州大学等とメディカル産業支援体制を整備し、東京でのマッチング交流会の定期開催により、日本医療機器協会とのネットワークの構築
- 長野県次世代ヘルスケア産業協議会(H27.3設立)を中心に実証事業を展開し、ヘルスケア産業分野のビジネス化等を推進
- 環境エネルギー分野の産業化に向けた勉強会の実施(H28:5回予定)

### 今後の方向性

- 県航空機産業振興ビジョンに基づく支援策を強化します。
- 健康・福祉分野の地域社会ニーズを解決する新製品開発などの取組を強化します。
- 環境エネルギー分野の産業化に向けた産学官民連携による支援の仕組みを構築します。【発電設備容量でみる自然エネルギー自給率 100%(H29)】

### <平成29年度の取組>

- ◆「長野県航空機産業振興ビジョン」を具体化するため、信州大学の研究講座開設による高度人材育成、工業技術総合センター整備による研究開発支援、国内唯一の防弾試験機整備等の支援策を実施し、航空機システム拠点づくりを推進（H29:航空産業分野に取り組む県内企業数55社）【産業労働部】航空機システム拠点形成推進事業
- ◆「健康寿命」の延伸とヘルスケア産業の振興を図るため、長野県次世代ヘルスケア産業協議会を中心に、これまでの成果を踏まえた調査・研究・実証事業を展開し、ビジネス化を推進【産業労働部】ヘルスケア産業振興事業
- ◆長野県産食品の高付加価値化とブランド化のため、風味評価モデルの構築及びおいしさ分析シートによるおいしさ指標の見える化を推進【産業労働部】(新)「NAGANOの食」おいしさ評価モデル構築事業
- ◆環境エネルギー分野の産業化研究会(仮称)の立上げ、海外先進地の関係者との交流等【環境部】(新)環境エネルギー分野ビジネス創出事業

## <目指すもの>

戦略的な企業誘致と、日本一創業しやすい県づくりを推進し、未来を担う次世代産業を集積します。

## 企業誘致・創業・起業支援

### <これまでの取組>

- 新規立地企業等への助成や税の減免等による産業集積強化(製造業や研究所、ICT産業)、(企業立地件数 26件(H27)、研究所立地件数10件(H18~H27)全国第4位)
- 地域再生計画(地方創生)による本社機能や研究所の誘致強化(国による認定 3件、県助成制度による認定 4件)
- 創業・ベンチャー推進員による相談体制の強化(ワンストップ支援)とセミナー等の開催「ながの創業サポートオフィス」平成28年度相談件数 415件(H28.12、前年同期比175%)
- 創業者向け専門家派遣事業(自己負担なし)の創設(H27) 76件(H27)

### 今後の方向性

- 長野県と所縁(ゆかり)のある企業の本社等へのアプローチを強化します。【本社移転・拡充件数 17件(H27~H29累計目標)】
- 本県の立地環境(交通網等)や子育て環境など強みを活かした誘致活動を推進します。【企業誘致件数 200件(H25~H29累計目標)】
- 県内における創業及び移住創業の促進により、開業率を全国レベルへと引き上げます。【雇用保険適用事業所開業率 4.81%(H30)】

### <平成29年度の取組>

- ◆市町村や金融機関と連携しターゲットを絞った効果的な誘致活動の推進
- ◆「首都圏魅力発信立地セミナー」などによるトップセールスの実施や県外展示会におけるPR
- ◆県内での国際展示会等の活用や「長野県航空機産業振興ビジョン」による航空機産業集積にあわせた外資系企業の誘致【産業労働部】産業集積促進事業
- ◆創業に関する情報の一元化や全県的な気運醸成を図るとともに、創業希望者のシーズと県内企業のニーズとのマッチングを支援するため、産学官金のプラットフォームを構築しイノベティブな創業を促進【産業労働部】(新)信州創業応援プラットフォーム創出事業

# (1) 産業イノベーションの推進 ②

## <目指すもの>

ものづくり現場における製造業の生産性の向上、農林業の生産機械・施設や生産基盤の整備による「稼ぐ力」を強化します。

## 生産性・所得向上

### <これまでの取組>

- ものづくり現場のカイゼン活動を指導助言できる指導者養成スクールについて、諏訪地域でのH29開校に向けて、スクールリーダー等の東京大学への研修派遣等を支援
- 農業所得の向上を図るため、規模拡大や生産コストの削減、革新的農業技術の開発などを推進
- 農地中間管理機構を創設し、担い手への農地の集積・集約化を加速
- 県産材の需要回復に向けて、団地化、路網整備、機械化等により、県産材の安定供給体制の整備を推進

### 今後の方向性

- 生産革新活動指導者を養成します。
- 革新的な農業技術の開発、効率的な農業経営の実現を目指します。
- 農林業生産基盤整備を重点支援します。【農業農村総生産額 3,050億円(H29)】

### <平成29年度の取組>

- ◆東京大学と連携して諏訪地域でスクールを開校し、ものづくり現場のカイゼン活動を指導助言できる指導者養成を支援 (H29: 地域スクールでの指導者養成人数 6人)  
【産業労働部】 信州ものづくり生産革新事業
- ◆企業の求人ニーズと専門人材のマッチング、県内企業の生産性向上等の経営革新の実現を促すための取組を推進 (人材コーディネート件数: 250件(H28見込) → 300件)  
【産業労働部】 プロフェッショナル人材戦略拠点事業
- ◆水田農業の体質強化や県オリジナル品種の生産拡大を支援するとともに、革新的農業技術の開発やトヨタ式カイゼン手法の農業への導入等を総合的に推進  
【農政部】 農業所得向上支援事業
- ◆農業経営の規模拡大や多角化、生産・流通コストの低減等に必要な農業用機械・施設・生産基盤等の整備やDNA情報の活用など新たな技術導入を支援  
【農政部】 産地パワーアップ事業、需要に応える園芸産地育成事業、高収益型畜産推進事業、力強い農業を支える基盤整備事業
- ◆森林整備の低コスト化を図るため、伐採から植栽までのコンテナ苗を活用した低コスト一貫作業システムの導入と定着を促進 (H29: 県内林業事業体への低コスト一貫作業システムの普及率: 35%)  
【林務部】 (新)低コスト一貫作業システム導入促進モデル事業
- ◆信州大学を中心とした産学官連携によるスマート林業技術開発により、森林・林業の情報高度化と素材生産の効率化を推進  
【林務部】 産学官連携によるスマート林業推進事業

## <目指すもの>

信州地酒や伝統的工芸品の品質向上、魅力発信により、国内外の販路を開拓し、産業全体の活性化を促進します。

## 日本酒・ワイン振興

### <これまでの取組>

- しあわせ信州日本酒研究会の提案実現 (H28～): 若者・女性向け日本酒造りを7歳支援
- 信州日本酒全国No.1奪還プロジェクト (H28～): 専門家の配置による醸造技術の向上
- 地域ワイン分析ラボ整備 (H28～): 千曲川ワインバレー分析センターの開設を支援

### 今後の方向性

- 信州地酒の醸造技術向上・販路開拓を強化します。【全国新酒鑑評会金賞数15件(H29)】
- ぶどう苗木の確保、ワイン醸造設備内製化の促進、国際的ブランド力向上を図ります。

### <平成29年度の取組>

- ◆信州日本酒の魅力発信に向けた研修会の開催を支援  
【産業労働部】 (新) 百花繚乱! 信州日本酒PRプロジェクト事業
- ◆醸造関連機器の高度化や内製化を目指し、ワイナリーや製造業者、行政等による研究会の開催を支援  
【産業労働部】 (新) 信州型醸造設備開発プロジェクト事業
- ◆「NAGANO WINE」のブランド力向上に向け、首都圏での情報発信の強化、国際コンクール出品を支援 (国際ワインコンクールでの入賞数: 5件)  
【産業労働部】 NAGANO WINEブランド発信事業  
(新) NAGANO WINEグローバルチャレンジ事業
- ◆ワイン産地の形成に向け、ワイン用ぶどう苗木の増産や関係者によるプラットフォームの形成と気象情報等の収集・活用を支援  
【農政部】 (新) ワイン用ぶどう苗木緊急増産支援事業、(新) NAGANO WINE栽培情報プラットフォーム構築事業

## 伝統的工芸品振興

### <これまでの取組>

- 技術伝承講習会や新規就業者への助成金による後継者対策の推進
- 産地による活性化のためのプロジェクトへの支援、展示商談会による販路開拓支援

### 今後の方向性

- 後継者の育成・確保と販路開拓を行います。【技術伝承講習会参加者数 50名(H29)】

### <平成29年度の取組>

- ◆技術伝承講習会の開催(参加者50名)、新規就業者へ助成金の交付(2件)
- ◆産地活性化プロジェクトへの支援(5件)、展示商談会の開催・出展支援(5回)  
【産業労働部】 伝統的工芸品産業魅力アップ・創造事業、伝統的工芸品普及促進支援事業

## (2) グローバル経済への対応

### <目指すもの>

本県の工業製品、農産物・物産、観光地が世界から選ばれ続ける「NAGANO」の実現を目指します。

- 世界で輝くものづくり産業の強化
- 世界にはばたく農林業の創出
- 世界から選ばれる観光地づくり



### 輸出拡大の取組

#### <これまでの取組>

- グローバルNAGANO戦略プランの策定
- アジア新興国等の有望市場への販路開拓の支援による輸出促進
- 県産農産物等の輸出を拡大するため県内の輸出に積極的な事業者を支援
- 花き輸出促進セミナーの開催、商談会への参加
- 林業・木材産業及び住宅等木材利活用産業の関係者が一同に会し、輸出を含めた現状・課題・方向性等の検討

#### 今後の方向性

- 海外バイヤー等の発掘や連携を強化します。
- 国際的なブランド価値の向上を図ります。
- 農産物等の輸出促進体制を強化します。
- 製材品、桶等の木工品の輸出展開に向け、輸出関係者、木材関係者等との検討を進めます。  
【農産物輸出額 5億円(H29)】【加工食品輸出額 59億円(H30)】

#### <平成29年度の取組>

- ◆海外バイヤーや海外企業との商談を通じて、新興国市場への販路拡大や技術連携等の海外展開を支援 【産業労働部】海外バイヤー招へい事業
- ◆「NAGANO WINE」の国際的な知名度向上に向けて、国際コンクールへの出品支援や世界に向けて著名な専門家から情報を発信 【産業労働部】(新) NAGANO WINEグローバルチャレンジ事業
- ◆県産農産物等の輸出を拡大するため、輸出に積極的に取り組む農産物等輸出事業者を支援 【農政部】「長寿世界一NAGANOの食」輸出拡大事業

### インバウンドの推進

#### <これまでの取組>

- 観光外国語サイトの運営や訪日教育旅行の受入、海外プロモーションの実施
- 観光 地域づくりの舵取り役となる県DMO、地域DMOの構築
- 信州まつもと空港の発展・国際化に向けた取組方針の策定

#### 今後の方向性

- 各市場の特性やターゲットを明確にした、効果的で持続的なプロモーションを展開します。
- 訪日教育旅行受入を推進します。
- 外国人旅行者がストレスなく、快適に観光を満喫できる環境を整備します。  
【外国人延宿泊者数 146.4万人(H29)】

#### <平成29年度の取組>

- ◆台湾・香港の1階層への長野県ならではの特別な体験プログラム等の情報発信、スキー人気が高まる韓国・中国からのスキー客の誘客、現地商談会等を通じた東南アジアからの誘客等、市場の特性に応じた効果的なプロモーションを実施 【観光部】戦略的な外国人旅行者の誘致推進事業
- ◆交番等への通訳アプリ内蔵タブレットの配布やWeb110番システムの導入 【警察本部】(新) 訪日外国人等安全・安心確保事業

### 海外との連携

#### <これまでの取組>

- 友好交流を活用した覚書の締結 香港・中国(華南・河北省)・ベトナム・韓国(ソウル市・江原道)
- コロラド州との産業・観光・人材育成における覚書の締結
- オーストリア農林環境水資源管理省との技術交流等に関する覚書の締結

#### 今後の方向性

- トップセールスを活用します。
- 覚書に基づいた経済交流・人材交流を促進します。
- 新たな地域との覚書の締結促進による経済交流を加速化させます。

#### <平成29年度の取組>

- ◆知事のトップセールスによる海外との提携
- ◆海外の先進的領域等との経済交流・連携の推進 【産業労働部】海外連携促進事業  
【林務部】長野・オーストリア林業技術交流事業、【農政部】シナノゴールド欧州等商業栽培許諾推進事業、【県民文化部】(新) ホストタウン推進事業、国際関係パートナーシップ強化事業、【環境部】(新) 環境エネルギー分野ビジネス創出事業

# (3) 地消地産の推進

## <目指すもの>

県内企業や各種団体をはじめ、県民と共に地域内で消費されるモノやサービスを、できるだけ地域内で生産する「地消地産」の取組を進め、経済がグローバル化する中でも足腰の強い「地域経済づくり」を目指します。

## しあわせバイ信州運動

### <これまでの取組>

- 生産、加工、流通・販売、消費の各ステージの関係団体から現場の実態や意見を聞き取り
- 県産品利用促進制度の試行を開始

### 今後の方向性

県民や県内企業が積極的に県産品を購入・活用する機運を醸成させる効果的な仕組みを構築します。

【県産の飲食良品(一次産品を除く)を意識して購入する人の割合 40%(H29)】

### <平成29年度の取組>

- ◆バイ信州運動の効果的な仕組みを構築
- ◆県産品の見える化を推進
- ◆県内飲食料品産業の自給率及び地消地産による経済効果を把握する調査を実施
- ◆県産品利用促進制度の拡充

【産業労働部】しあわせバイ信州運動推進事業

## 信州農畜産物の活用拡大

### <これまでの取組>

- 県内のホテルや観光旅館、飲食店等を対象とした「食の“地消地産”」の取組を開始
- 6次産業化を目指す農業者に対し、商品開発・販路開拓等、総合的な支援を実施
- 需要拡大に向けた信州ジビエ研究会の取組推進

### 今後の方向性

県内で利活用する食材について、県外産から県産への「置き換え」を促進します。

【学校給食県産農産物利用率 45%(H29)】

### <平成29年度の取組>

- ◆ホテル・旅館等や学校給食での食材や加工原料について県産への置き換えを促進  
【農政部】信州産食材“地消地産”推進事業
- ◆畑地での輪作体系の実証実験や6次産業化などにより、食品加工の県産原材料等の活用を推進  
【農政部】(新)地域食料自給圏実証実験事業  
夢をかなえる信州農業6次産業化推進事業
- ◆信州ジビエの高付加価値化とシカの資源としての有効活用の推進及び観光コンテンツとしての醸成  
【林務部】信州ジビエ需要拡大総合対策事業

## 信州の木自給圏の構築

### <これまでの取組>

- 森林施業の集約化や林内路網整備、高性能林業機械導入への支援
- 林業技術者の育成支援
- 木材加工流通施設整備への支援 …支援件数:20件(H26~27年度)
- 建築関係者や消費者への普及促進 …展示会・商談会等:7回(H26~27年度)

### 今後の方向性

地域の特徴を活かした木材資源の循環利用と地消地産の仕組みづくりを推進します。

【県産材の製材品出荷量 150千 $m^3$ (H29)】

### <平成29年度の取組>

- ◆千曲川上流、千曲川下流、伊那谷流域の現状把握と課題抽出、その分析及び解決に向けた取組の推進。  
【林務部】信州の木自給圏構築事業
- ◆地域資源の活用を促進する熱供給用バイオマスボイラー導入への支援  
【林務部】森のエネルギー総合推進事業

## エネルギー自立地域の確立

### <これまでの取組>

- 地域主導による自然エネルギー発電事業に対して助成(H28 4件)
- 「1村1自然エネルギープロジェクト」による自然エネルギー事業の知見の普及(H28 登録累計200件見込)

### 今後の方向性

地域主導型の自然エネルギー事業の普及拡大と省エネルギーの促進、関連分野の産業振興によりエネルギー自立地域の確立を目指します。

【発電設備容量でみる自然エネルギー自給率 100%(H29)】

### <平成29年度の取組>

- ◆地域主導型の自然エネルギー事業を推進  
【環境部】地域主導型自然エネルギー創出支援事業等
- ◆環境エネルギー分野での技術等の産業化を促進  
【環境部】(新)環境エネルギー分野ビジネス創出事業
- ◆既存住宅の省エネ化リフォームを支援  
【建設部】信州型住宅リフォーム促進事業
- ◆県有施設照明のLED化を推進するための調査を実施  
【環境部】(新)県有施設の照明LED化推進事業
- ◆県管理ダムを活用した新たな水力発電所の建設  
【企業局】(新)横川ダム他2か所の水力発電所建設

# 3 多様な働き方・暮らし方の創造

一人ひとりが自分らしい生き方・働き方を見出し、その希望に応じた多様な働き方・暮らし方を実現するため、柔軟な働き方の提案や多様な就労機会の提供、女性や高齢者、障がい者の活躍推進、生活を豊かにする文化芸術の振興等に引き続き取り組みます。

## (1) 働き方改革

様々な人材が、それぞれのライフステージやライフイベントに応じて、希望する働き方を選択できるよう、多様で柔軟な働き方の普及を図るとともに、誰もがそれぞれの能力を活かして活躍できるよう、多様な就労機会を提供し、就労を支援します。

### 《多様で柔軟な働き方》

- (新) IT活用による新たな働き方の普及のため、ITスキル習得セミナー開催や企業に対してテレワーカーへの業務発注方法を普及【産業労働部】(1,931万6千円)
- 職場環境改善アドバイザーの10人配置等を通じて、企業に対し短時間正社員制度など多様な勤務制度の導入や従業員の処遇改善を働きかけ【産業労働部】(3,360万4千円)
- 企業経営者や従業員を対象としたシンポジウムやテレビCM等により働き方改革に向けた気運を醸成【産業労働部】(678万5千円)
- (新)「一人多役」型の新しい働き方・暮らし方による地域社会づくりのための研究会を開催【産業労働部】(14万3千円)

など

## (2) 女性への応援

あらゆる分野で女性の活躍などを応援することができるとともに、性別に関わらず多様なライフスタイルを実現できる豊かで活力のある地域社会を目指します。

### 《女性の活躍推進》

- (新) 次世代の女性リーダー育成及び県内の女性のエンパワメント機会の増加を目指して新たに女性の意欲向上とネットワークづくりを促進する長野県ウィメンズカレッジ事業や中小企業向け女性活躍推進セミナーを実施【県民文化部】(170万4千円)

### 《様々な分野で活躍する女性支援》

- (新) 様々な分野で活躍する女性のネットワーク化と女性の視点を取り入れたプロジェクトを検討するため懇談会を開催【県民文化部】(15万2千円)
- 農業女子による交流会を開催するほか、新たに県外で就農相談を実施【農政部】(460万4千円)

など

## (3) 高齢者・障がい者の活躍

年齢や障がいの有無に関わらず、一人ひとりが持てる能力を最大限に発揮して職場や地域で活躍できる「誰にでも居場所と出番がある社会」の実現を目指します。

### 《高齢者の活躍》

- シニア活動推進コーディネーターを6人配置し、就労や移住者支援、子どもの居場所づくり活動へのシニアの参加を促進【健康福祉部】(2,641万6千円)
- (新) 第7期長野県高齢者プランの策定【健康福祉部】(852万円)

### 《障がい者の活躍》

- 特別支援学校技能検定を導入し、生徒の就労意欲と就労のためのスキルの向上を図る等、就労支援を強化【教育委員会】(1,587万3千円)
- 2020年東京パラリンピックの機運も活用した障がい者スポーツの普及・振興、障がい者の芸術作品展の開催【健康福祉部】(6,716万4千円)
- (新) 長野県障がい者プランの策定【健康福祉部】(443万1千円)

など

## (4) 文化芸術振興

平成27年度に「文化振興元年」としてスタートした文化振興の取組を更に発展・充実するため、芸術監督団の事業展開などによる人材育成や文化芸術に親しむ人々の拡大、文化芸術の創造性を活かした地域づくりを推進します。また、県民一人ひとりが人生を楽しむことができる「文化県」を目指し、「長野県文化芸術振興ビジョン」(仮称)を策定します。

### 《文化芸術の担い手育成》

- (新) 長野県文化芸術振興ビジョン(仮称)の策定【県民文化部】(122万2千円)
- (一財)長野県文化振興事業団による芸術監督団事業を引き続き支援するほか、文化芸術の専門的なスタッフの配置についても新たに支援【県民文化部】(5,490万1千円)

### 《参画と鑑賞機会の拡大》

- セイジ・オザワ 松本フェスティバルの共催【県民文化部】(1億円)

### 《信濃美術館》

- 県民参加による老朽化した信濃美術館本館の全面改築や東山魁夷館のバリアフリー化、改修【県民文化部】(2億3,979万6千円)

など

# (1) 働き方改革

## <目指すもの>

- ・多様な人材がそれぞれのライフステージやライフイベントに応じて、希望する働き方が選択できる社会を目指します。
- ・誰もが、それぞれの能力を活かして活躍し、やりがいを持って働くことができる社会を目指します。

## 多様で柔軟な働き方

### <これまでの取組>

- 企業へのワークライフバランスの啓発や「社員の子育て応援宣言」の趣旨説明、登録依頼  
社員の子育て応援宣言登録企業数(H29.2.1現在) 1,057社
- 企業訪問による多様な勤務制度導入の働きかけ  
多様な勤務制度導入企業数(H29.2.1現在) 219社  
アドバンスカンパニー認証企業数(H29.2.1現在) 52社
- 長野県働き方改革・女性活躍推進会議の取組  
働き方改革について平成29年の取組を確認(H28.12.22)  
働き方改革シンポジウムの開催(H29.2.17予定)

### 今後の方向性

- ・ITを活用した新たな働き方や「一人多役」など多様な働き方を推進します。
- ・働き方改革の必要性等の理解促進や多様な働き方制度導入促進の取組を強化します。  
【アドバンス認証企業数 150社(H29)】

### <平成29年度の取組>

- ◆ ITスキル習得セミナーを実施するとともに、企業に対してテレワーカーへの業務発注方法等の普及を図り、セミナー受講者と結び付ける、IT活用による新たな働き方を普及  
【産業労働部】(新)IT活用による新たな働き方普及事業
- ◆ 職場環境改善アドバイザーの配置等を通じて、企業に対して短時間正社員制度など多様な勤務制度の導入や従業員の処遇改善を働きかけ  
【産業労働部】職場環境改善促進事業
- ◆ 企業経営者や従業員を対象にしたシンポジウム等による啓発や働きやすい職場環境改善の基礎資料とするための調査を実施  
【産業労働部】働き方改革推進の気運醸成事業
- ◆ 「一人多役」型の新しい働き方・暮らし方による地域社会の仕組みづくりのための研究会を開催  
【産業労働部】(新)「一人多役」型の地域社会づくり推進事業

## 多様な就労機会

### <これまでの取組>

- 若者の就業、正社員就職の支援  
ジョブカフェ信州利用者の就職率(H27年度) 64.1%  
座学と職場実習を組み合わせた研修による正規雇用者数(H22～H27年度) 294人
- 県外学生等の人材還流・定着  
県内出身学生のUターン就職率(H28.3卒業生) 37.8%  
UIターン助成金による雇用実績(H27～H29.1) 61件
- 子育て期女性の再就職支援  
再就職者数(H26～H28.12累計) 832人

### 今後の方向性

- ・若者の相談拠点の充実やUターン就職の促進、若者の就業・正社員就職の支援により、産業を支える人材の定着を促進します。
- ・女性、高齢者、障がい者等多様な人材の労働参加を支援します。  
【ジョブカフェ信州利用者の就職率 66%(H29)】

### <平成29年度の取組>

- ◆ 40歳台前半までの若者等を対象に、キャリア・コンサルティング、就業支援セミナー、職業紹介等のワンストップ支援を松本・長野・上田・東京(銀座)で実施  
【産業労働部】ジョブカフェ信州運営事業
- ◆ 未就職又は非正規就労の若年等を対象に、座学と職場実習を組み合わせた研修を通じて、正規雇用に向けた支援を実施  
【産業労働部】信州正社員チャレンジ応援事業
- ◆ インターンシップ支援や企業との出会いの場創出等を通じて県内外の学生の県内就職を促進  
【産業労働部】信州シューカツ応援プロジェクト
- ◆ 県内企業が都市部から専門的な能力や経験を有する人材を雇用する際に必要な人件費等を助成  
【産業労働部】UIターン助成金交付事業
- ◆ 生活困窮者の就労に向けた生活習慣形成・社会的自立のための訓練等による就労準備支援など世帯の自立に向けた支援を実施  
【健康福祉部】信州パーソナル・サポート事業
- ◆ 女性の活躍(働く女性の応援)【県民文化部、健康福祉部、産業労働部、農政部】
- ◆ 高齢者・障がい者の活躍(人生二毛作・障がい者の就労支援)  
【健康福祉部、産業労働部、教育委員会】

## (2) 女性への応援

### <目指すもの>

あらゆる分野で女性の活躍などを応援することができるとともに、多様なライフスタイルが実現できる社会を目指します。

### 女性の活躍推進

#### <これまでの取組>

○経済団体、教育機関等と連携した女性の活躍推進の取組とネットワーク構築のため、長野県女性活躍推進会議を設置(H28.5)、企業・団体で活躍する女性ロールモデルの学生による紹介発信等を実施

#### 今後の方向性

ネットワークを活用し、政策方針決定参画に向けた女性の学びやエンパワーメントの機会を提供します。  
【県の審議会等での女性委員の割合 50.0%(H29)】

#### <平成29年度の取組>

- ◆固定的な性別役割分担意識の解消を図り、女性が活躍する豊かで活力のある地域社会をつくるため、長野県女性活躍推進会議の取組と連携しながら、新たに女性の意欲向上と異業種・多世代のネットワークづくりを促進する長野県ウィメンズカレッジ事業や中小企業向け女性活躍推進セミナー等を実施【県民文化部】女性の活躍推進事業
- ◆女性の雇用と社会参加の促進をはじめとした男女共同参画の課題解決を図るため、起業や再就職などにチャレンジする女性を支援する講座や多様な生き方の実現に向けたライフプラン等の講座を実施【県民文化部】チャレンジ・生き方支援講座事業
- ◆職場や地域における女性の活躍やワーク・ライフ・バランス等の推進のため、経済団体、市町村等と共同してセミナーを開催【県民文化部】男女共同参画セミナー事業

### 男性の家庭参画の推進

#### <これまでの取組>

○男女共同参画社会実現に向け、県民と協働し、ワーク・ライフ・バランス等を推進する啓発イベントを実施

#### 今後の方向性

多様な生き方の実現に向けた支援とともに、男性の家事・育児・介護等への参画を推進します。  
【男性の育児休業取得率 13.0%(H32)】

#### <平成29年度の取組>

- ◆イクボス・温かボスの普及など男性の家庭参画への環境づくりを促進する企業向けセミナーを実施【県民文化部】女性の活躍推進事業
- ◆父親向け子育て講座等を実施【県民文化部】チャレンジ・生き方支援講座事業
- ◆男性の悩みに対する相談を実施【県民文化部】男性相談事業

### 働く女性応援

#### <これまでの取組>

- 地域に出向いた就業相談やセミナーや託児付きインターンシップの実施、女性の就業機会拡大に向けた企業向けセミナーや職域拡大イベントの開催、女性の就業継続のための経験者との交流会等を実施
- 県内経済を担う次世代産業を創出するため、創業者向けのセミナー等の開催やモデル事業を実施
- 相談窓口を設置し、創業に悩みを持つ事業者へ相談・助言を行うことで創業意欲を高め、多様な創業スタイルを応援

#### 今後の方向性

子育て期女性の希望に応じた就職をかなえるための支援、出産・育児による離職抑制を図るための女性従業員への支援や企業への働きかけを実施するとともに、創業予備軍の掘り起こしや創業意欲を高めて「日本一創業しやすい県づくり」を目指すことにより、就業や創業する女性を応援します。  
【子育て女性の就職者数 300人(H29)】

#### <平成29年度の取組>

- ◆身近な地域に出向いた就業相談や託児付きインターンシップの強化、新たに女性従業員向け業務スキル向上のためのセミナー等の開催【産業労働部】はたらく女性応援プロジェクト事業
- ◆女性の創業・起業を促進するためのセミナーやモデル事業を実施【産業労働部】創業・起業支援強化事業

### 様々な分野で活躍する女性支援

#### <これまでの取組>

- H27から若い女性農業者の交流を促進するとともにSNSやパンフレットによる情報発信、フォーラム、農業体験バスツアーを実施
- H28から女性医師が育児中に勤務を続けることができる環境づくりを支援
- H26から女性薬剤師の復職支援のための研修会等を実施

#### 今後の方向性

・若い女性農業者のネットワーク化を進めるとともに都会に住む若い女性に農業・農村の魅力を発信し、就農や移住の促進を図ります。  
・医療分野の支援対象を女性医師に加え、病院に勤務する医療従事者に拡大します。  
・多様な分野で女性が主体的に様々な活動ができるように交流やネットワーク化を支援します。  
【農業女子ネットワーク登録数 500人(H29)】  
【病院に勤務する常勤の看護職員の離職率 8.8%以下(H29)】

#### <平成29年度の取組>

- ◆様々な分野で活躍する女性のネットワーク化と女性の視点を取り入れたプロジェクトの検討【県民文化部】(新)長野のみらいを創るキラッと女性プラットフォーム事業
- ◆農業女子による県域及び地域交流会の開催や新たに県外就農相談を実施【農政部】長野でかがやく農業女子応援事業
- ◆育児中の医療従事者が勤務を続けることができるよう、子どもの急病時に送迎・保育等を行う医療機関を支援【健康福祉部】医療従事者が働きやすい環境整備推進事業
- ◆薬剤師の復職・就業支援のための相談会・研修会の実施【健康福祉部】薬剤師復職・就業支援事業

# (3) 高齢者・障がい者の活躍

## <目指すもの>

年齢や障がいの有無に関わらず、一人ひとりが持てる能力を最大限に発揮して職場や地域で活躍できる「誰にでも居場所と出番がある社会」を目指します。

## 高齢者の活躍

### <これまでの取組>

- 高齢者が培ってきた知識や経験を社会活動や仕事で活かし、元気に活躍できる「人生二毛作社会」を確立するため、シニア活動推進コーディネーターを配置して、関係機関との連携体制を構築
- 長野県長寿社会開発センターが行うシニア大学の企画・運営や信州ねんりんピックの開催、老人クラブ連合会等が行う社会参加活動などを通じて、高齢者の活躍の場を広げる活動等を支援
- 長野県シルバー人材センター連合会が行う就業先の開拓等への支援、定年帰農者等の就農資金の金利負担軽減による就農支援など、高齢者の就業促進を実施

### 今後の方向性

- ・高齢者が培ってきた知識と経験を活かし、生きがいを持って、積極的に就業や社会活動などの社会参加ができる社会を実現します。
- ・人口減少社会に対応した高齢者の活躍の場づくりを行います。  
【シニア大学卒業後のボランティア活動・市民活動実施(予定)率 40%(H29)】

### <平成29年度の取組>

- ◆シニア活動推進コーディネーターが、地域・企業・行政等とシニアを結び付け、企業や農家への就労、ユニバーサルツーリズムへの参画、移住者への支援、子どもの居場所づくりへの参画など、就労・移住支援等の地方創生に資する取組を加速  
【健康福祉部】 人生二毛作社会推進事業  
※上記に加え、創業支援など関係部局事業と連携して高齢者が活躍する環境を整備

## 高齢者・障がい者福祉分野の中長期的な施策を定める計画の策定

### 今後の方向性

高齢者福祉及び障がい者福祉分野の関連法律に基づき、平成30年度を始期とした、中長期的に取り組むべき施策等を定める2つの計画について、整合・連携を図り策定します。

- <平成29年度の取組>
  - ◆「長野県高齢者プラン(第7期)」「長野県障がい者プラン」の策定  
【健康福祉部】 第7期長野県高齢者プラン策定事業  
長野県障がい者プラン策定事業

## 障がい者の活躍

### <これまでの取組>

- 共生社会の実現とろう者の社会参加を促進するため、手話言語条例を制定し、手話に対する理解を深め、手話の普及を図る取組を推進
- 障がい者が地域で自立した生活を送るため、ハローワーク等と連携した一般就労・職場定着の促進、障がい者就労施設の受注機会拡大等の支援、特別支援学校への就労コーディネーター配置による就労活動の支援
- スポーツ教室や大会開催等により、障がい者がスポーツに親しめる環境づくりの推進、芸術作品展の開催等により障がい者の文化芸術活動の振興
- 医療分野等と連携した支援を推進するため、発達障がいに関する理解の促進や分野や年代で途切れない支援体制の構築、地域交流活動の促進や就労支援等を行う難病相談支援センターの設置

### 今後の方向性

- ・障がいのある人もない人も、お互いに個性を尊重し支え合いながら、一人ひとりが地域社会の一員として活躍できる社会の実現を目指します。
- ・福祉、医療等の分野やライフステージで切れ目のない支援体制を構築します。  
【県民向け手話講座参加者数 800人(H29)】  
【障がい者の主なスポーツ大会、イベント教室等の参加者数 17,700人(H29)】

### <平成29年度の取組>

- ◆県民向け手話講座開催等による手話の普及や理解促進  
【健康福祉部】 手話言語条例関連事業
- ◆農福連携等による障がい者の工賃向上、一般就労に向けたOJT推進員等による職場実習の実施、合同企業説明会の開催等による障がい者と企業の出会いの場創出、特別支援学校における技能検定の導入  
【健康福祉部 産業労働部 教育委員会】 福祉就労強化事業 障がい者職場実習促進事業 障がい者と企業の出会いの場創出事業 特別支援学校就労支援総合事業
- ◆各種スポーツ大会の開催や2020年東京パラリンピックの機運を活用した関係団体との協力連携による障がい者スポーツの普及・振興、障がい者芸術作品展の開催や県立文化会館のバリアフリー化等による文化芸術作品の発信・鑑賞の機会の提供  
【健康福祉部】 障がい者スポーツ振興事業 障がい者の芸術作品展開催事業  
【県民文化部】 県立文化施設機能向上事業

# (4) 文化芸術振興

## <目指すもの>

平成27年度に「文化振興元年」としてスタートした文化振興の取組を更に発展・充実するため、芸術監督団の事業展開などによる人材育成や文化芸術に親しむ人々の拡大、文化芸術の創造性を活かした地域づくりを推進します。また、県民一人ひとりが人生を楽しむことができる「文化県」を目指し、「長野県文化芸術振興ビジョン」（仮称）を策定します。

## <今後の方向性>

- ・音楽・演劇・美術の各分野で芸術監督団による事業を展開するなど「文化振興元年」の取組を発展・充実します。
- ・県民参加により老朽化した信濃美術館の整備を推進します。
- ・文化芸術振興施策の今後の方向性を明確化するため「長野県文化芸術振興ビジョン」（仮称）を策定します。

【文化芸術に参加した人の割合 70.0% (H29)】

区分	平成28年度	発展	平成29年度の取組内容
全体	<p>平成27年度「文化振興元年」 「文化振興基金」を創設し新たな取組を開始</p> <p>◆(一財)県文化振興事業団に「芸術監督団」配置【県民文化部】</p>	→	<p>◇(新)「長野県文化芸術振興ビジョン」(仮称)の策定【県民文化部】 ・文化芸術振興施策の今後の方向性を明確化</p> <p>◆(一財)県文化振興事業団による芸術監督団事業への支援【県民文化部】 ・芸術監督団の企画による音楽・演劇公演や若手作家展の開催を通じた芸術家や学芸員の育成と(一財)県文化振興事業団の専門性アップ</p>
そだてる 文化芸術の担い手育成	<p>◆若手芸術家の活動を支援【県民文化部】</p> <p>◆文化施設のスタッフ等の育成【県民文化部】</p> <p>◆ウィーン楽友会館姉妹提携【県民文化部・教育委員会】</p>	→	<p>◆若手芸術家の発表の場を開拓【県民文化部】</p> <p>◆ワークショップ等を通じたホールスタッフや学芸員の育成【県民文化部】</p> <p>◆ウィーンから招へいした音楽家による高校生等への指導【県民文化部】</p>
つながる 文化施設の連携・強化	<p>◆文化会館・ホールのネットワークの構築【県民文化部】</p> <p>◆美術館・博物館のネットワークの構築【県民文化部】</p>	→	<p>◆複数の文化会館が連携して実施する公演等への支援【県民文化部】</p> <p>◆美術館等の首都圏での魅力発信やスタンプラリーの実施【県民文化部】</p>
ひろげる 参画と鑑賞機会の拡大 文化芸術のバリアフリー化	<p>◇セイジ・オザワ松本フェスティバルへの支援【県民文化部】</p> <p>◇アーティスト・イン・レジデンスの推進【県民文化部】</p> <p>◆障がい者の芸術作品展の開催【健康福祉部】</p>	→	<p>◇セイジ・オザワ松本フェスティバルへの支援【県民文化部】</p> <p>◆アーティスト・イン・レジデンスの普及【県民文化部】 ・モデル事業として大町市の取組(「北アルプス国際芸術祭」)を支援</p> <p>◆障がい者の芸術作品展の開催【健康福祉部】 ・東京オリンピック・パラリンピックに向けて障がい者の芸術文化活動を促進</p>
いかす 伝統文化の継承・活用	<p>◆文化財の活用による地域の活力創出等【教育委員会】</p> <p>◆地域で守る伝統行事(芸能)の継承支援【教育委員会】</p>	→	<p>◆文化財に関する情報発信や活用・啓発の取組への支援【教育委員会】</p> <p>◆南信州の伝統芸能継承の取組への支援【教育委員会】</p>
はばたく 信濃美術館	<p>◇信濃美術館整備に着手【県民文化部】 ・平成28年11月「信濃美術館整備基本構想」策定</p>	→	<p>◇県民参加により信濃美術館整備を推進【県民文化部】 ・信濃美術館本館の基本設計 ・東山魁夷館のバリアフリー化、改修</p>